

2023年杉並区議会議員選挙 立候補予定者 「外環道路」 アンケート集計結果

(Rev 4)

質問文 設問1. あなたは現外環道事業の内容や歴史的経緯などについてどの程度ご存じですか？
 a.よく知っている b.おおむね知っている c.少しは知っている d.ほとんど知らない

設問2. 同事業に対するあなたのお考えは
 a.問題ない、早期完成を望む b.さらに時間をかけて問題を解決した上で続行する c.問題が多く、事業は中止する d.その他（ ）

設問3. 【設問2のお答えがbまたはcの方】同事業の問題点として特にどのような点を重視しますか？（40字以内）

設問4. 2020年10月、同事業の地下トンネル工事により、調布市の住宅地の地面が陥没する事故が起き、2022年2月には東京地裁により一部工事が差し止められています。事業者は事故再発防止対策を検討する一方、工事で緩んだ地盤の大掛かりな補修工事を開始しました。住民説明会が開かれましたが、住民から「入場制限のある説明会は不当」「事故は大深度法の前提を覆す」「工事の騒音・振動・低周波音などによる健康被害を無視している」「今後の安全に対する保障がない」「被害住民に寄り添わない地盤補修工事は受け入れられない」などの多くの批判があります。この事態へのあなたのお考えは？

a.事業者の対応は十分で、今後についても信頼できる
 b.事業者の報告も対策も信頼はできない c.その他（ ） 回答理由（40字以内）

設問5. 外環道地上部に計画されている、東京都が事業主体の「外環の2」は、地元町会を含め反対の動きがあります。「外環の2」に関し、あなたはどの程度ご存じですか？

a.すべてよく知っている b.おおむね知っている c.少しは知っている d.ほとんど知らない

設問6. 「外環の2」を含む外環道事業に関して、特に有権者に伝えたいことがありましたら記してください。（40字以内）

立候補予定者氏名	所属	設問1	設問2		設問3	設問4		設問5	設問6
赤坂 たまよ	立民	b	c		地下方式への変更が大深度法に依存するにも拘わらず、その前提が既に崩れているところ	c	区は都が住民目線で責任をもって事業者への監督指導を行うよう申し入れるべき	b	外環の2には、自然を破壊し住民の暮らしを制限してまで進める公共性は皆無と考えます
茜ヶ久保 舞	都フ						無回答		
浅井 邦夫	自						無回答		
安齋 昭	無						無回答		
井口 絵美	無						無回答		
井口 かづ子	自						無回答		
井原 太一	自						無回答		
今井 洋	自						無回答		
宇田川 祐治	都フ						無回答		
大泉 やすまさ	自	c	d	安全を確保した上で続行	-	c	二次事故を防ぐための補修は必要。住民不安を解消する説明会を誠実に行う	c	外環の2については区民・住民目線で必要性を改めて検証する必要がある。
大熊 昌巳	自						無回答		
太田 哲二	立民	a	b	-	大深度工法は、そもそも地下の深いところなので、何が発生するか心配	c	かなりの説明会を必要とする	a	近々、外環の説明を私なりに取りまとめて、文章化したいと思っています
大槻 城一	公						無回答		
大和田 伸	自						無回答		
小川 宗次郎	自						無回答		
奥田 雅子	生ネ	a	c	-	様々な地上への影響が出て、大深度法の前提が崩れた今なお責任の所在が明らかでない	b	国や事業者は住民の生命や財産を軽んじているとしか思えず住民の不安にも応えていない	a	地下になっても残る外環の2も問題だが住民の真下に巨大トンネル自体に無理がある。
梶谷 秀一	N	b	b	-	-	c	不安に感じている住民に寄り添った説明会が必要	b	話合いの経緯を見ると結論ありきのアリバイ作りの様相である
川原口 宏之	公						無回答		
北 明範	公						無回答		
くすやま 美紀	共	b	c	-	調布の陥没事故・空洞等住民生活に深刻な影響を与えるもの、莫大な税金投入も問題	b	今後も重大な事故が起こる可能性があり、即刻中止すべき	b	住民の生活を壊すことに繋がりが直ちに中止すべき
國崎 隆志	自						無回答		
倉本 美香	無						無回答		

小池 めぐみ	共	b	c	—	調布市で起きた陥没事故では多くの住民の暮らしが壊された。大深度工法は危険、中止すべきだ	b	事故が起きれば取り返しのつかない被害が起きる。国や事業者の対応は信頼できない	b	外環の2も外環道も不要。これ以上重大事故を起こす可能性のある道路事業は必要ない。金額も3兆を超えと異常。
小林 かやこ	無	b	c	—	トンネル危険性による周辺住宅被害、地下水への影響、不測の事態時の対応不備	c	事業者は工事再開に終始するのみで、住民の不安・懸念は払拭できず。問題解決を事業者に一任は無理がある	b	外環の2には反対。政治判断で事業の見直しを求めていくべき
齋藤 利華	公	無回答							
酒井 まさえ	共	b	c	—	調布市の陥没や空洞等、住民生活を危険にさらす事故が相次いでいる	b	閑静な住宅街を破壊する事故を起こした時点で外環道計画は即刻中止すべき	b	住民生活を壊す外環道・外環の2は即時に中止させるべき
佐々木 千夏	正	b	b	—	首都直下型地震に備え、どのような取り組みがなされているか	c	・（事業者の信頼性につき）現段階では返答できかねる ・住民の方より「今後の安全に対する保証がない」とのお声が上がっていることが心配	b	説明会がないまま現地（現況？）測量が行われた理由を地域の方に説明する必要があるのでは。
佐々木 浩	無	無回答							
鈴木 千鶴	維	無回答							
そね 文子	生ネ（現）	b	c	—	大深度法の前提だった地上部への影響がないことが崩れている	b	設問4で述べられている住民の意見はその通りだと考えるから	a	地上部へ大きな影響が出ている工事は中止すべき
田中 裕太郎	無	無回答							
松尾 ゆり	無	a	c	—	調布の陥没事故のように大深度地下トンネル工事のリスクが大きい。費用がかかり過ぎ。税金の無駄使い	b	原因究明がなされていない。不十分な対策に対し住民負担（移転等）が大きすぎる	a	外環の2は不要な道路であり計画廃止が妥当と考えます。
てらだ はるか	立民	c	b c d	今のままならば事業中止。続行は問題解決が条件。何をもって解決とするか、その根拠を誰（第三者）が判断するのか決める必要がある	事業者や国が“安全”を強弁するだけで、住民が納得できる根拠が示されていない	b	事故は原発同様、基本的見直しの必要性を示す。数十センチの差で移転への保障を得られない人たちの生活が守られていない	c	一度決まっても、住民が注視し続けなければ覆されてしまう。祭りを伝承するのと同じように勝ち取った権利は可視化し続ける必要がある
富田 たく	共	b	c	—	住民の意見も聞かずに工事を進め、陥没事故など住民の命と暮らしを脅かしていること	b	大規模な陥没事故を起しているにもかかわらず、工事を進めることは許されません	b	外環道も外環の2も住民合意なく進めることは許されません。即時中止しかありません。
中村 康弘	公	無回答							
野垣 あきこ	共	a	c	—	調布の陥没事故の原因究明もせず、練馬側ではシールドマシンがスタート。ここに税金をこれ以上投入することは許されない	b	住民の主張はもっともだ。杉並にもシールドマシンが入ったときに、今のままでは住民の安全が保持されるとは考え難いため	a	外環道と外環の2は事故によって便益比を悪化させ地域住民にも大損害を与えている。即時中止を
葉梨 俊郎	無	無回答							
久水 勝人	無	無回答							
ひわき 岳	立民	a	c	—	命と生活を脅かす事故が起きるほど技術的に問題がある工事を住民合意なく施行できる点	b	情報公開も不十分で、第三者による検証もない再発防止策により再開を急ぐのは不誠実	b	住民の命と生活を脅かし地域のコミュニティを破壊する外環道事業に反対します
藤本 直也	自	無回答							
ブランシャール明日香	緑	b	c	—	ゼロカーボン視点で車優先ではなく住民の環境と安全、生態系を守る社会を目指すべき	b	事業者は住民の安全に住む権利を脅かしている。リスクが大きく保証もない計画に反対	b	これからは脱車社会。住民の財産と安全、都会の貴重な自然を踏みにじる計画に反対
逸見 純一	自	無回答							
ほらぐち ともこ	都革	b	c	—	地域住民の生活環境・意見を無視し、大資本・大企業の利益を優先した公共事業の典型	b	地域住民の方々の主張は全く正当なもの。結論ありきの説明会など許せない	b	石原都政のイニシアティブで再開された住民無視の政治的事業は直ちに中止すべき
松本 浩一	立民	無回答							
松本 みつひろ	維	b	d	問題はあるがむやみに先延ばしせず早急な問題解決を図りつつ事業を進めるべき	—	b	対応が不誠実と認識しており、改善すべき。住民側と合意可能な落とし所を見つけるべき	b	意義ある事業と認識。住民が納得する誠意ある対応が必要。区議会機能を活用し区民の意思を伝えてきた
矢口 泰之	自	認識							
安田 マリ	立民	c	c	—	地上の地権者の了解なく地下の工事を進められる大深度法、住民の命と安全を脅かす点	b	大事故を起こしておきながら継続しようとすることは理解し難く、信頼できません	c	車社会からの脱却を目指す時代に、都が主導する大規模道路事業は不要だと思います

山田 耕平	共	a	c	—	地上に影響は生じないとした外環工事が地表面陥没や空洞、気泡を発生させていること	b	地表面への重大事故や様々な影響を発生させている時点で、大深度法は破綻している	a	住民生活を危険にさらし莫大な税金を投入する外環道は中止。外環の2も計画廃止
山名 かなこ	れ	c	d	話合いの議事録を読むに、平行線で問題が解決していない。結論ありきでの議論ではなく、住民との対話を重ねるべき	—	c	事業者が信頼できるか判断できない。住民から上記のような批判が上がっている時点で、住民が安心できる説明が必要であることがわかります	c	—
山本 あけみ	無	b	b	—	陥没事故などが発生し、危険性が現実。具体的に安全に繋がる対策が不十分と理解する	b	詳細に関しては把握しきれていないが、被害住民を発生させてしまった責任の大きさに比べると対策が十分とは言えない	b	必要の有無から住民を交えた話し合いが必要。杉並区役所担当課も当事者意識を持って対応を。
横田 正直	参	無回答							
吉田 愛	自	無回答							
脇坂 達也	自	無回答							
和氣 みき	共	b	c	—	調布市の陥没事故など住民生活を脅かしている。徹底的な調査・検証が必要。大深度も違憲で、まずは中止	b	—	b	今すべきことは不要不急の道路事業ではなく、暮らし再建に向けて税金は使われるべきだと思っている
渡辺 友貴	自	無回答							
渡辺 富士雄	公	無回答							
渡辺 ゆきこ	無	c	c	—	当初の計画から現在まで十分な検証が公開されていない。このままでは懸念がある	b	—	c	地域のコミュニティの崩壊に繋がる計画には反対。基本的人権の保障を求める
岩田 生真	無	無回答							
松浦 威明	自	無回答							
奥山 たえこ	無	b	c	—	検証なしに事業認可し、陥没事故対応であたふた終始。大深度地下法の欺瞞性が顕在化	b	仮処分申請感謝（抗告棄却残念）。議会や一般市民の場でも運動盛り上げの必要性を痛感	a	外環は地下に潜ったんじゃないの！？と、一緒に行政の”お笑い計画”を広めましょう
木梨 盛祥	無	無回答							

○遅れて届いた回答は、その時点で追加公表します。

○立候補予定者名は2023年3月29日現在情報をもとにし、連絡可能な方に限っています。

○所属欄は略称表記。正式名は以下のとおりです。

無：無所属 立民：立憲民主党 都フ：都民ファーストの会 自：自由民主党 公：公明党 生ネ：杉並・生活者ネットワーク N：NHK党 参：参政党

共：日本共産党 正：正理の会 維：日本維新の会 緑：緑の党グリーンジャパン 都革：都政を革新する会 れ：れいわ新選組

○字数制限を超えた回答は、趣旨を尊重の上、文章の省略を行いました。